

## 令和元年度 梅岩の里生誕地整備実行委員会 事業報告

### ○梅岩の里生誕地整備事業

#### ・ 梅岩の里生誕地整備及び記念館設計業務

基本計画、設計与条件整理等                      決算額      990,000 円

#### ・ 梅岩の里生誕地整備事業基本設計業務委託（その1）

基本設計、各種調査                                      決算額      6,394,300 円

(内訳)

設計	1,432,992 円	水源調査	4,191,308 円
地盤調査	330,000 円	測量調査	440,000 円

# 梅岩の里生誕地整備事業について

令和 2年 6月 24日  
梅岩の里生誕地整備実行委員会

## 1 趣旨・目的

亀岡市は石門心学の発祥の「ふるさと」として、石田梅岩先生の教えを学び活かし、先生の貴重な遺品や資料を保存・公開・活用すると共に、多様な学習の場を提供し、情報発信する施設等を整備するものです。

## 2 事業概要

現在の石田梅岩記念館は、昭和 41 年 9 月に開館してから 50 年が経過し、施設の老朽化が著しい状況です。そこで、記念館の建替、更新と併せ、生誕地一帯の整備を行い、保存・継承を図るものです。

## 3 スケジュール〔予定〕

設計業務〔基本設計、実施設計等〕：平成 31 年度～令和 2 年度  
建設工事〔記念館建設・梅岩の里周辺整備等〕：令和 3 年度以降

## 4 取組み経過

○梅岩の里生誕地整備実行委員会の開催

梅岩の里生誕地整備実行委員会・・・3回

梅岩の里生誕地整備実行委員会建設委員会・・・8回

○梅岩の里生誕地整備に係る公募型プロポーザルの実施

- ・プロポーザルの募集開始：令和元年 7 月 2 日（全国に募集）
- ・企画提案書の提出期限：令和元年 9 月 11 日（22 者の提出有）
- ・事前審査（書面審査）：令和元年 9 月 18 日（第 3 回建設委員会）
- ・ヒアリング審査（6 社）：令和元年 9 月 25 日（第 4 回建設委員会）
- ・選定結果の公表：令和元年 10 月 10 日（10/9 の実行委員会で決定）
- ・優先交渉権者：（受注者）塩田有紀建築設計事務所〔名古屋市〕

○設計概要（基本計画）の主な内容

採用された提案内容を基本に、実行委員会等の意見集約と最終的な取りまとめを行い、主たる仕様を決定し課題を抽出する。

【記念館及び梅岩公園】

- ・延床面積 約 300 m<sup>2</sup>、平屋建て、鉄筋コンクリート造一部木造
- ・展示室、収蔵庫、講堂、里山工房等の諸室機能を想定
- ・梅岩公園は、現在に伝わる里山の風景の骨格を活かす整備とし、生家と一体的な景観を保つ整備を図る

## ○基本設計（その1）の主な内容

基本計画を基に、実行委員会等との合意形成を図りながら設計業務をすすめる。

### 【建築概要】

- ・延床面積：243.46㎡、構造規模：平屋建 木造一部鉄筋コンクリート造、主要室：展示収蔵庫、講堂、里山工房及び付帯施設

### 【配置計画】

- ・梅岩先生が幼少期の頃に体験した環境を守り、思いを馳せる場
- ・最も重要な建物である生家の存在感を尊重した建物群となるよう計画地盤を下げるとともに石積による全体景観を整備する

### 【平面計画】

- ・豊かな里山の自然や風景が建物内部でも感じられるよう、周辺環境全方位に開いた計画
- ・収蔵庫はコンクリート躯体内に計画し安定的な収蔵環境とする

### 【外構計画】

- ・梅岩の里の園地全体に回遊性がもたらせる工夫や水の流れを活用した園地、里山における自然と人の関係性を踏襲した計画

## ○寄附金の募集について

- ・平成31年4月以降、梅岩の里生誕地整備実行委員会委員を中心に寄附募集活動を展開
- ・令和元年11月2日、「石田梅岩先生開講290年記念講演会」において、参加者（120名）に対し事業説明と寄附依頼を実施
- ・令和元年11月25日、亀岡商工会議所、亀岡市観光協会、亀岡経済同友会等へ寄附募集依頼を実施（2,000件）
- ・令和元年12月6日、京都商工会議所への事業説明と、会員全てに寄附募集依頼を実施（12,000社）
- ・令和元年度の寄附状況 68,959,000円

## 5 事業費見込み

全体事業費 約200,000千円

ふるさと納税による寄附金等を財源として実施

## 6 施設の設置主体と整備後の管理運営について

梅岩の里生誕地整備実行委員会において、整備内容等の検討や設計業務等を担当し、亀岡市が建設、整備し管理運営する予定です。

## 7 その他

財源は寄附金等を充当し整備を行うこととしていますので、寄附の状況により事業の進捗が変化します。

# 梅岩の里生誕地整備実行委員会の取り組み状況

令和2年6月24日

○梅岩の里生誕地整備実行委員会 事務局：(財)石田梅岩先生顕彰会、亀岡市

- 第1回 平成30年3月28日  
規約の決定、委員構成の確認、役員を選出、事業内容の確認
- 第2回 平成30年7月23日  
梅岩の里生誕地整備事業について、寄附募集
- 第3回 平成31年2月15日  
ふるさと納税の状況、事業スケジュール
- 第4回 令和元年6月4日  
ふるさと納税の状況、梅岩の里生誕地整備事業の実施と建設委員会の設置
- 第5回 令和元年10月9日  
公募型プロポーザルについて、実行委員会予算
- 第6回 令和2年2月23日  
ふるさと納税の状況、基本計画等について

## ○梅岩の里生誕地整備実行委員会 建設委員会

---

### ○公募型プロポーザルの実施

第1回 令和元年6月17日

建設委員会と役員選出、事業の進め方

第2回 令和元年6月27日

プロポーザルの実施、建設に向けたスケジュール

第3回 令和元年9月18日

プロポーザル事前審査の実施

第4回 令和元年9月25日

プロポーザルヒアリング審査の実施

### ○基本計画の検討

第5回 令和元年11月13日

基本構想、基本計画の検討、確認

### ○基本設計の検討

第6回 令和元年12月5日

基本計画の確認、基本設計の検討

第7回 令和2年2月28日

基本設計の検討、収蔵内容の検討、平面計画、

第8回 令和2年3月23日

基本設計の検討、設備計画・収蔵エリアの検討、外構計画の検討、  
基本設計図書の精査

第9回 令和2年4月17日

基本設計・建築計画の検討

第10回 令和2年5月22日

基本設計・外構計画の検討

## 令和元年度 梅岩の里生誕地整備実行委員会 決算書

令和2年3月31日作成

(単位:円)

### <収入の部>

項目	予算額	決算額	決算-予算	摘要
補助金	7,800,000	7,385,730	▲ 414,270	
	7,800,000	7,385,730		亀岡市補助金
合計	7,800,000	7,385,730	▲ 414,270	

### <支出の部>


項目	予算額	決算額	決算-予算	摘要
委託料	7,800,000	7,384,300	▲ 415,700	
業務委託料	7,800,000	7,384,300		設計委託料
手数料	0	1,430	1,430	
手数料	0	1,430		振込手数料
合計	7,800,000	7,385,730	▲ 414,270	


収入-支出=0    不用額 414,270円

# 監査報告書

令和元年度梅岩の里生誕地整備実行委員会歳入歳出決算について、帳簿及び  
預金通帳等を審査した結果、歳入歳出いずれも適正に執行されていたことを  
認めます。

令和2年 5 月29日

監 事 石川清之 

監 事 新田透郎 

○令和元年度 梅岩の里生誕地整備事業に係るふるさと納税額

(単位：円)

	WEB (返礼品あり)		郵便振替 (返礼品なし)		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
4月	3	250,000	1	100,000	4	350,000
5月	2	230,000	0	0	2	230,000
6月	6	191,000	2	1,050,000	8	1,241,000
7月	4	90,000	1	10,000	5	100,000
8月	2	40,000	1	20,000	3	60,000
9月	14	923,000	3	130,000	17	1,053,000
10月	21	750,000	2	30,000	23	780,000
11月	393	15,073,000	9	670,000	402	15,743,000
12月	1,053	47,004,000	9	930,000	1062	47,934,000
1月	16	813,000	5	115,000	21	928,000
2月	4	54,000	3	50,000	7	104,000
3月	10	336,000	1	100,000	11	436,000
合計	1,528	65,754,000	37	3,205,000	1,565	68,959,000

1件平均                      43,033                      86,622                      44,063

平成30年度からの累計   1,732件   77,339,000円



## 令和2年度 梅岩の里生誕地整備実行委員会 事業計画(案)

### ○梅岩の里生誕地整備事業

- ・ 梅岩の里生誕地整備事業基本設計業務委託 (その2)

コスト比較算出、各種法令手続等      予算額 2,997,000 円

- ・ 梅岩の里生誕地整備事業実施設計業務委託

基本設計に基づく実施設計業務      予算額 20,453,000 円

※スケジュールは別紙のとおり

# 梅岩の里生誕地整備実行委員会スケジュール

令和2年6月24日  
梅岩の里生誕地整備実行委員会

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実行委員会 設置・運営	H30.3月～					
生誕地整備に係る 基本計画			↑			
基本設計			↑			
実施設計				↑		
生誕地整備工事 (外構・内装含む)						
ふるさと納税等 募集期間		H30.6月～				
ふるさと納税等 金額・想定額		H30年度(実績) 8,380千円	R1年度(実績) 68,959千円	R2年度想定 50,000千円	R3年度想定 50,000千円	R4年度想定 50,000千円
その他 関連事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習都市宣言30周年</li> <li>ガレリアかめおか開館20年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心学開講290年シンポジウム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習かめおか財団30周年</li> </ul>		

※ ふるさと納税等募集期間は、4年間で目標2億円とする。

令和2年度 梅岩の里生誕地整備実行委員会 予算書(案)

(単位:円)

<収入の部>

項目	予算額	摘要
補助金	<b>23,453,000</b>	
補助金	23,453,000	亀岡市補助金
合計	<b>23,453,000</b>	

<支出の部>

項目	予算額	摘要
委託料	<b>23,450,000</b>	
業務委託料	23,450,000	梅岩の里生誕地整備事業 基本設計業務委託(その2) 2,997,000円 梅岩の里生誕地整備事業 実施設計業務委託 20,453,000円
手数料	<b>3,000</b>	
手数料	3,000	委託料振込手数料 880円×3回 2,640円
合計	<b>23,453,000</b>	

※参考

亀岡市市民力推進課において、  
ふるさと納税「心学の祖 石田梅岩を顕彰し、生誕地を整備する事業」の  
寄附募集チラシの作成費用として 180,000円 を予算計上しています。

# 梅岩の里生誕地整備事業 基本設計図（抜粋）

フェーズ：梅岩の里生誕地整備事業基本設計（その1）

## 図面リスト

1	全景パース	—
2	概要書（意匠）	—
3	配置図兼外構図	S=1/500
4	外構計画（配置図）	S=1/200
5	平面図	S=1/100
6	展示収蔵庫計画	—
7	立面図	S=1/100
8	断面図	S=1/100

令和2年6月24日

梅岩の里生誕地整備実行委員会



§. 1 建築計画

1-1 建築概要

敷地面積：2,579 m<sup>2</sup>（登記面積）  
 地域地区：都市計画区域外（用途地域、建蔽率、容積率、日影規制の規定なし）  
 道路幅員：西側 10.02m（接道長 19.460m）  
 用途：集会場  
 構造規模：混構造（木造+鉄筋コンクリート造）平屋建  
 建築面積：264.80 m<sup>2</sup>  
 延床面積：243.46 m<sup>2</sup>（容積対象面積も同じ）  
 主要室：展示収蔵庫、講堂、里山工房および付帯施設

1-2 配置計画

基本方針

- ・ 梅岩先生がご幼少の頃に過ごされた環境に思いを馳せる場として、周辺環境を守り、生家や門から春現寺への眺望を損ねない建物配置とする。
- ・ 県道側に建物を寄せて配置し、強雨時の山からの水の影響を極力緩和すると共に、日当たりに配慮する。
- ・ 梅岩の里のうち最も重要な建物は生家である。全体に一体感を持ちながら生家の存在感を尊重した建物群となるよう、記念館の計画地盤を下げるとともに、石積により全体の景観をまとめる。
- ・ 土砂災害特別警戒区域にかからない建物配置とする。

1-3 平面計画

基本方針

- ・ 豊かな里山（自然と人の生活の共存）の風景が建物内部にいても感じられるよう、周辺環境全方位に開いた計画。
- ・ 閉架収蔵庫はコンクリート躯体内に計画し、安定的な収蔵環境とする。
- ・ 祭壇や掛軸の壁など梅岩先生関連の展示部分をコンクリートとすることで、自由度の高い平面計画ながら鑑賞者が巡りやすい計画。
- ・ 里山工房は収蔵展示の鑑賞・地域の方々の交流・石田梅岩先生について学ぶ場の3つが連関して行える場として、作業コーナーとラウンジとなるテーブルを配置。
- ・ 里山工房には縁側を設けて屋内外の動線をつなぎ、周辺の里山環境と連携した活動（料理や工作他）が可能な計画としている。

1-4 立面計画

基本方針

- ・ 民家もつ景観的な特徴（大きな屋根が生活空間を守る、雨水をスムーズに流す屋根形状）を踏襲することで、周辺の建築と馴染む外観計画。
- ・ 県道から遠望しても人の賑わいが認知しやすいガラススクリーン状の外観。
- ・ 外観であられる壁面の高さを抑えることで、奥ゆかしく生家を引き立てる外観。

1-5 断面計画

基本方針

- ・ 講堂は日本の武芸をはじめ多様な学習活動の場として、最低天井高 3m を確保する。
- ・ 講堂とその他部分の屋根高さの差を活用し空調室外機置場を計画、周辺園地の景観に配慮する。

1-6 仕上計画

内部仕上	床	巾木	壁	天井	備考
講堂	無垢フローリング (武道場仕様)	なし	RC+木製リブ、 板壁	木毛セメント板	床材は武道場仕様
廊下 1,2	無垢フローリング	なし	RC、板壁	岩綿吸音板	
里山工房	無垢フローリング、 木調タイル	なし	RC、板壁	岩綿吸音板	キッチン床は木調タイル
事務室	無垢フローリング	なし	RC、板壁	岩綿吸音板,RC	
収納	長尺塩ビシート（耐摩耗）	V 巾木	RC、板壁	岩綿吸音板	
便所等	長尺塩ビシート（耐薬）	V 巾木	RC、板壁	岩綿吸音板	

外部仕上

外壁 RCもしくは木軸組、断熱材の上、杉板張  
 屋根防水 ガルバリウム鋼板ハゼ葺き（勾配屋根部）  
 アスファルト防水（外断熱）の上、押えコンクリート（空調機械スペース部）  
 開口 木製建具、鋼製建具

1-7 外構計画

基本方針

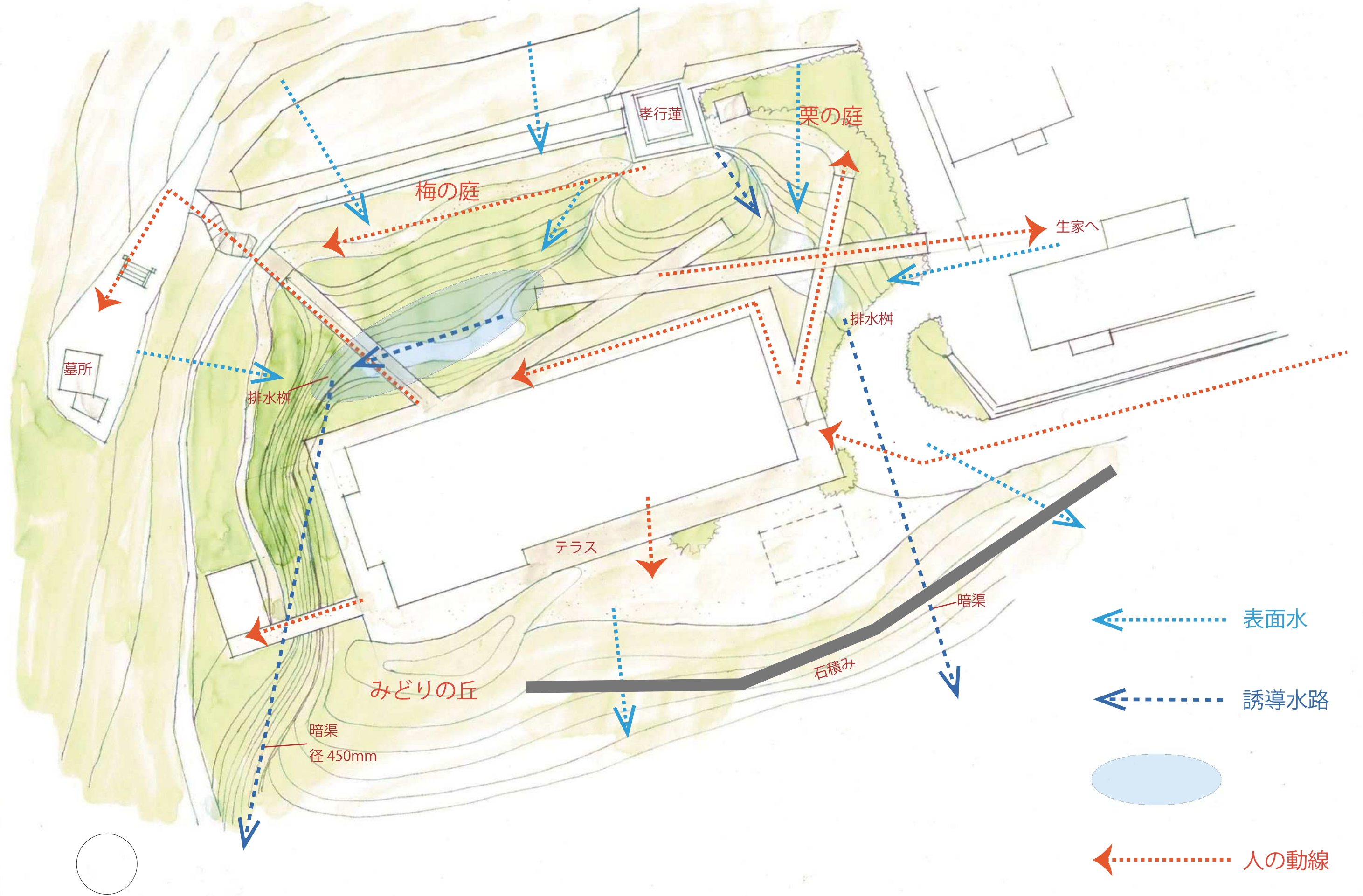
- ・ 梅岩の里の園地全体に回遊性がもたらされる外構計画とする。
- ・ 身障者用兼サービス用駐車場をエントランス脇に計画する。
- ・ 園地の植栽は梅岩先生ゆかりの植物の他、果樹を多く植え、里山における自然と人の関係を踏襲した計画とする。
- ・ 既存の水の流れを活用して水辺をつくり、地域の多様な植生触れることができる園地とする。
- ・ 田んぼと同程度の手入れで維持が可能な、地域の植生を尊重した園地とする。

1-8 計画場所案内図

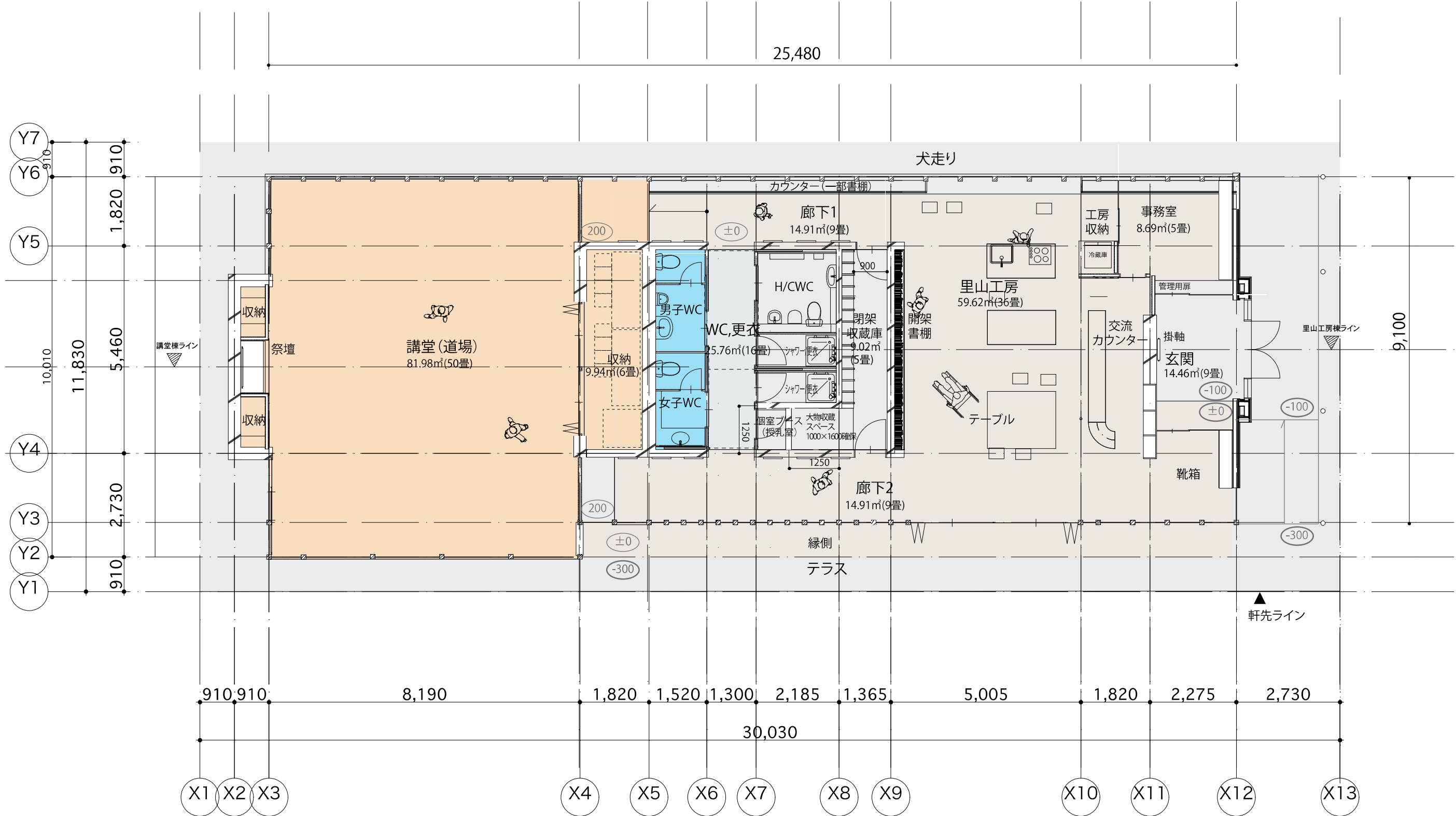


S=1/2500



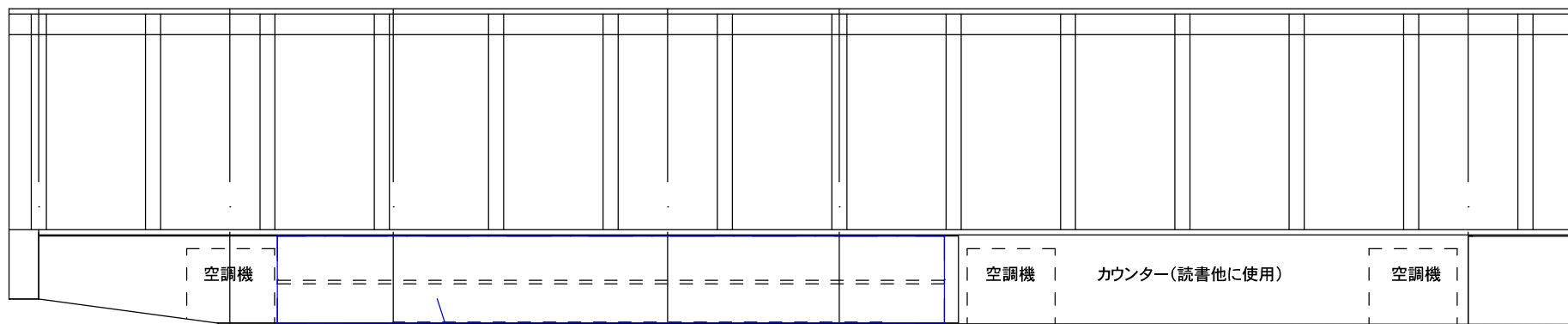






面積表 屋内

4.55 × 0.91 =	4.14	
8.19 × 10.01 =	81.98	
9.10 × 17.29 =	157.34	計243.46㎡
軒下・テラス含む		
11.83 × 30.03 =	355.25	計355.25㎡

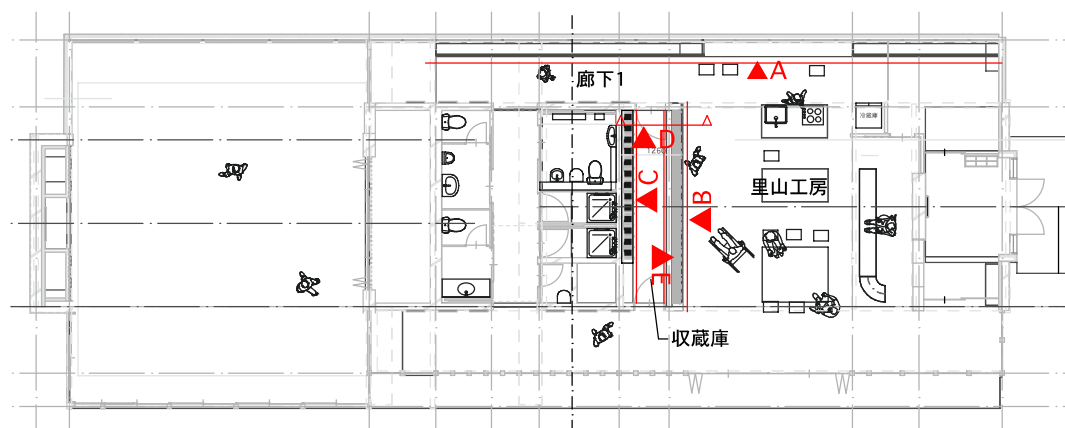


A 廊下1 山側展開図 1:50

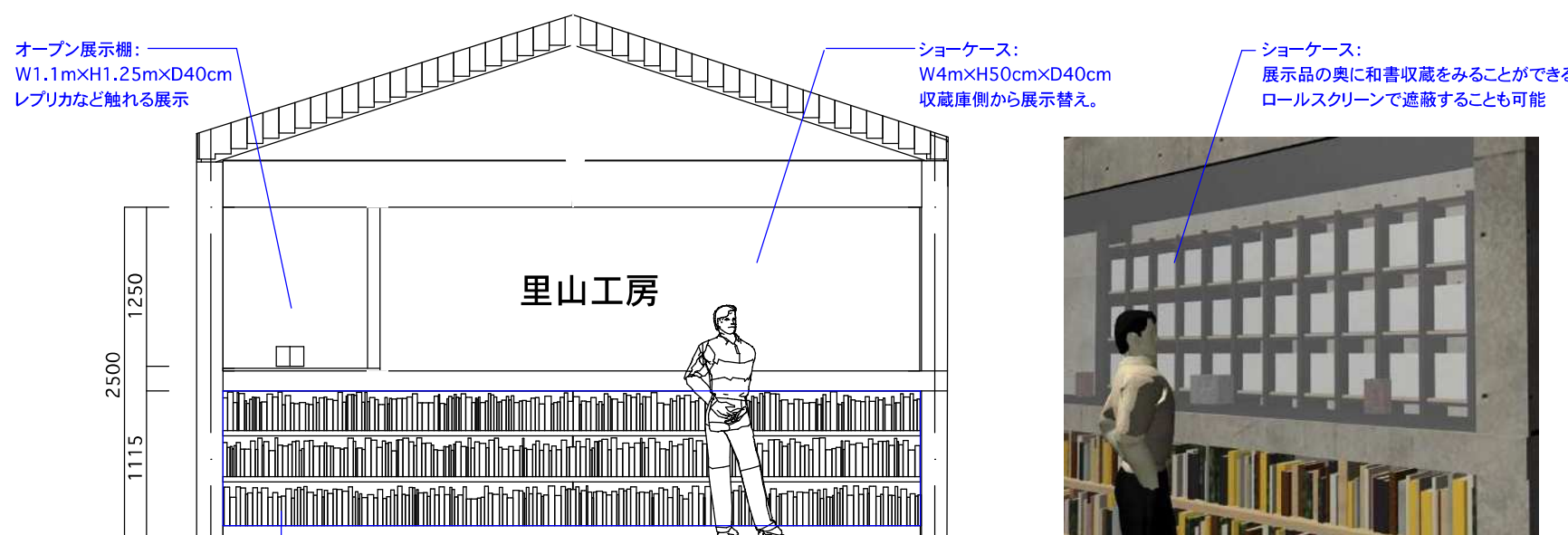
書棚:A4縦サイズW5.2m×2段



里山工房



平面図 1:200

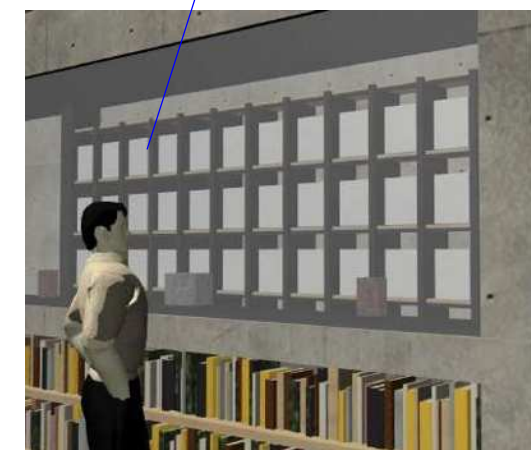


B 里山工房 収蔵庫壁展開図 1:50

オープン展示棚:  
W1.1m×H1.25m×D40cm  
レプリカなど触れる展示

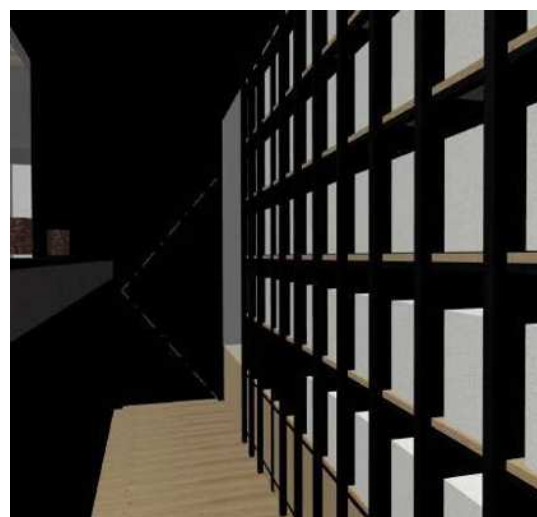
ショーケース:  
W4m×H50cm×D40cm  
収蔵庫側から展示替え。

ショーケース:  
展示品の奥に和書収蔵をみることができる  
ロールスクリーンで遮蔽することも可能

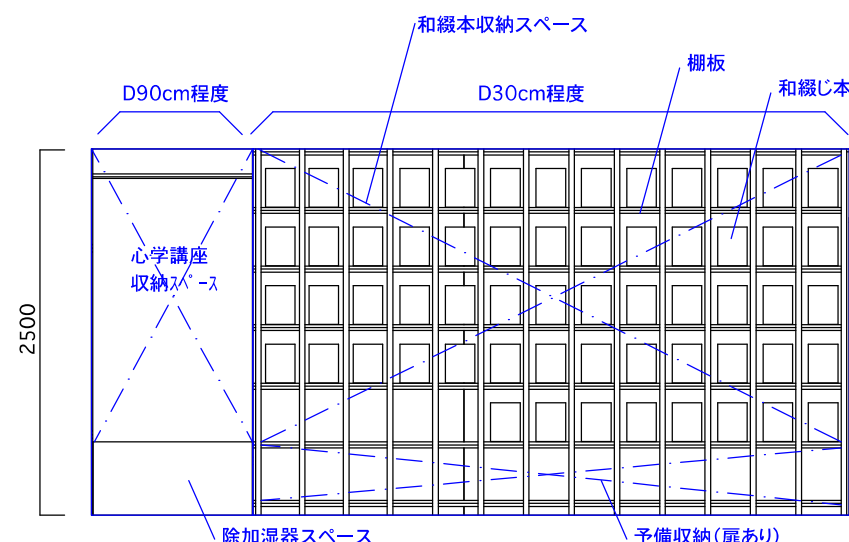


ショーケース

書棚:A4縦サイズW5.2m×3段



収蔵庫2



C 収蔵庫C面展開図 1:50

2500

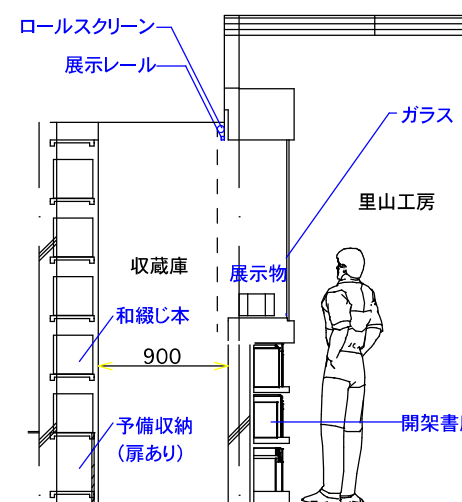
D90cm程度

D30cm程度

心学講座  
収納スペース

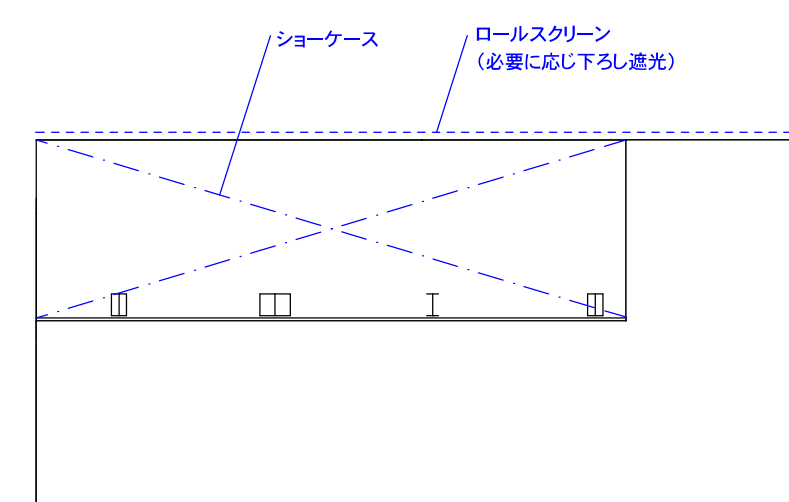
除湿器スペース

予備収納  
(扉あり)



D 収蔵庫 断面図 1:50

ロールスクリーン  
展示レール  
ガラス  
里山工房  
展示物  
開架書庫  
900  
予備収納  
(扉あり)

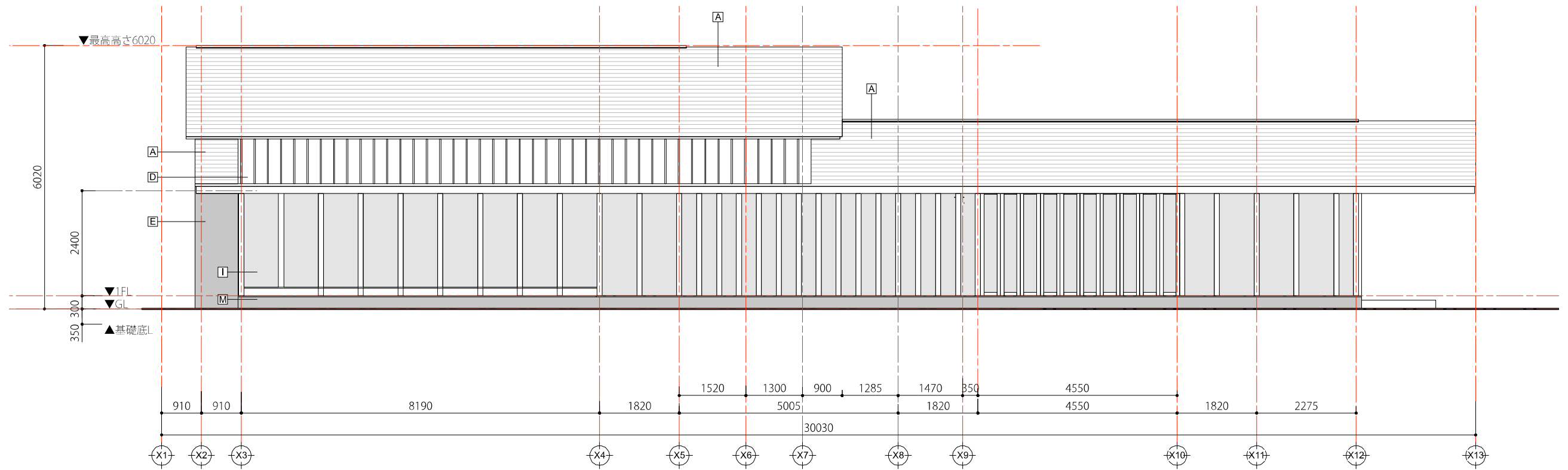
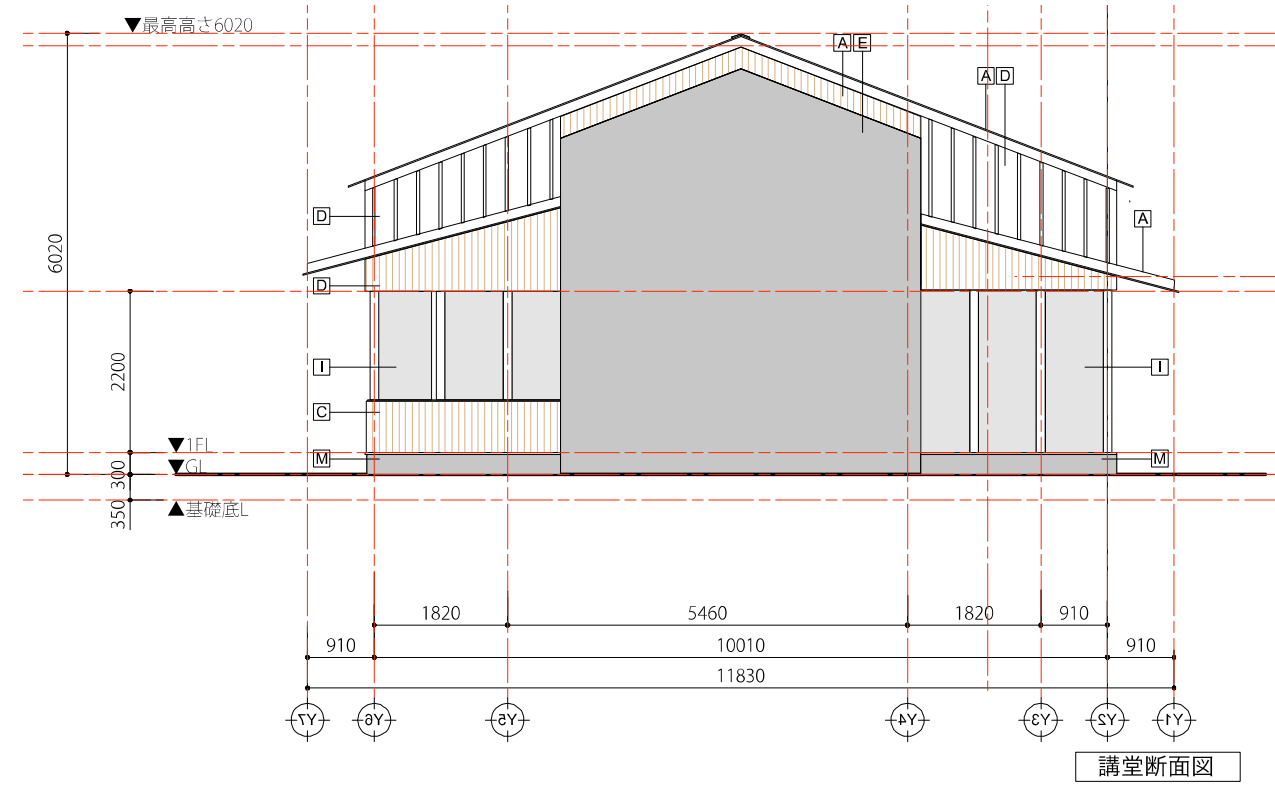
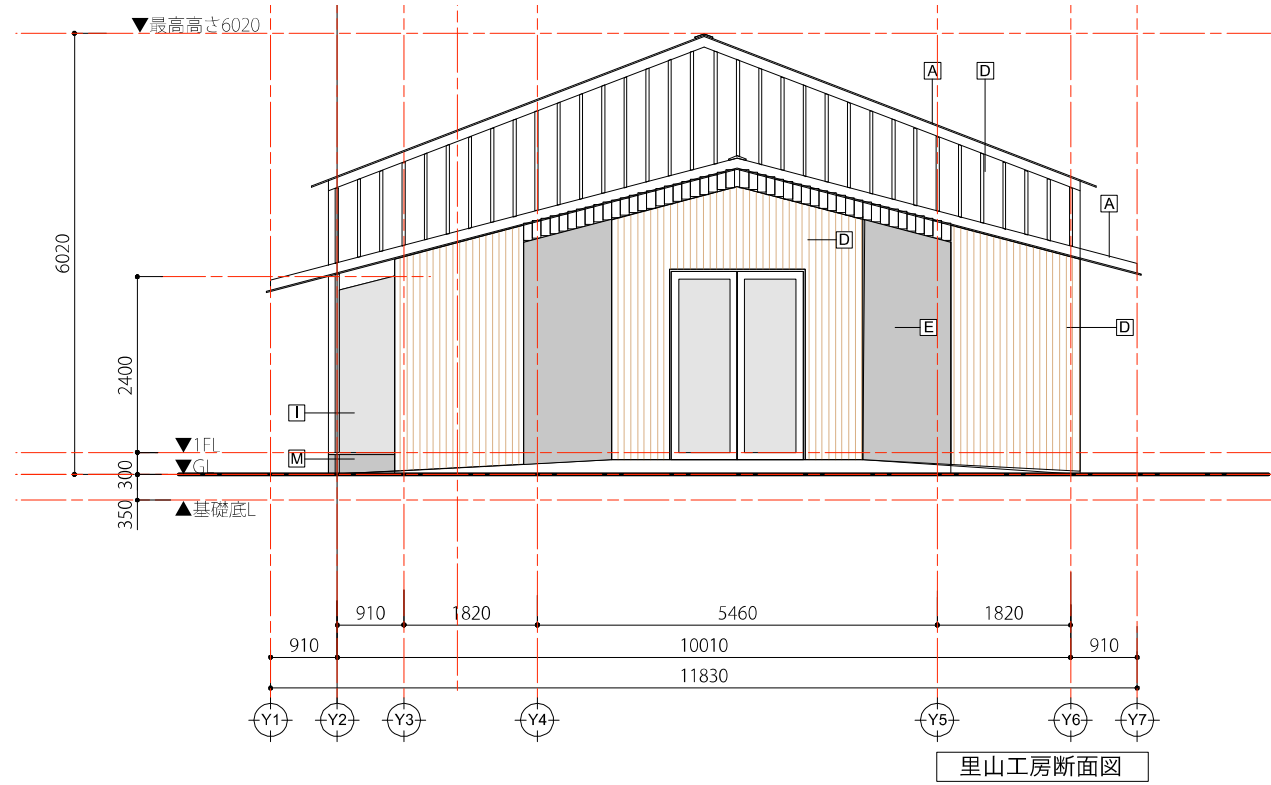


E 収蔵庫E面展開図 1:50

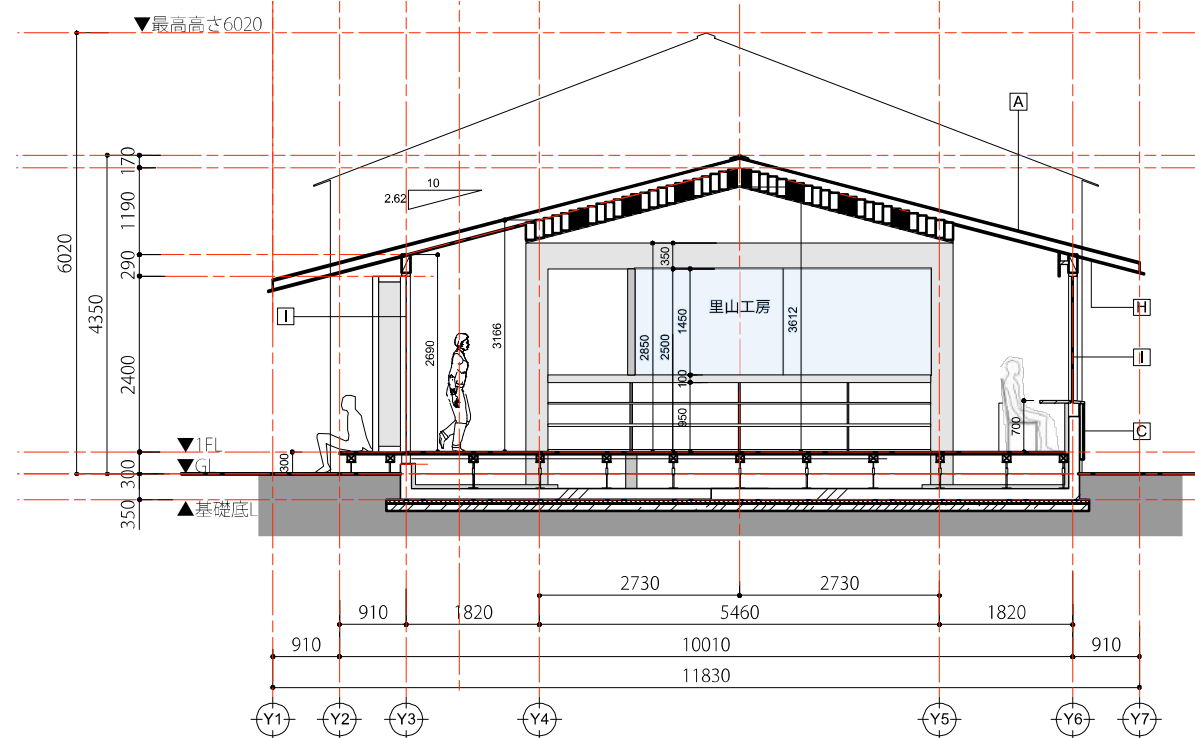
ショーケース

ロールスクリーン  
(必要に応じて下ろし遮光)

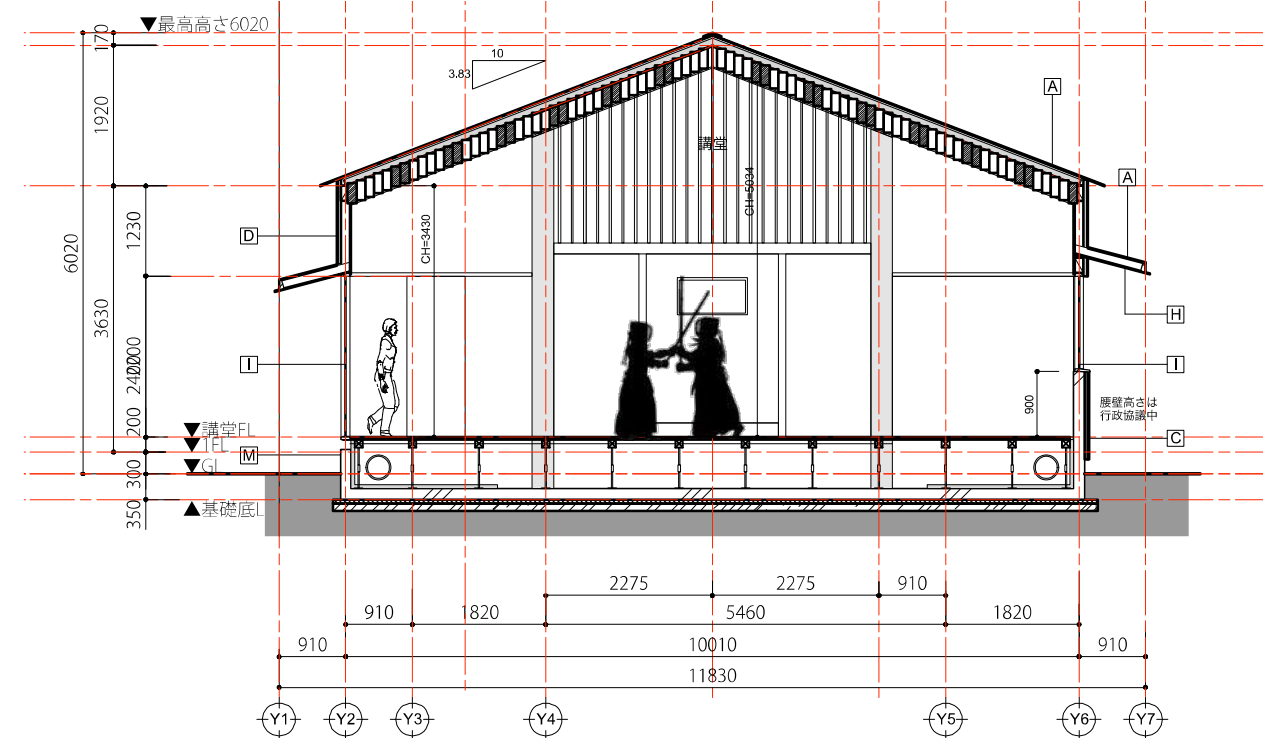
仕上等凡例		
A	屋根:1	カラーガルバリウム鋼板平葺-発砲ポリエチレンフォームt4-アスファルトルーフィング-硬質木毛セメント板-木下地
B	屋根:2	押さえコンクリートt50-100-断熱材t60-アスファルトシート-防水-RCSラブ
C	外壁:1	杉板t15-通気層-透湿防水シート-断熱材t50-RC
D	外壁:2	杉板t15-通気層-透湿防水シート-断熱材t50-木軸組(断熱材充填t50)
E	外壁:3	RC打放 撥水剤塗布
F	軒裏:1	杉板t10-木下地
G	軒裏:2	クイ酸カルシウム板t10-木下地
H	軒裏:3	高圧木毛セメント板t15-木下地
I	開口部	木製サッシ、アルミ製サッシ、ガラスFIX窓、木製ドア 他(ともにガラスはFL+A+Low-e)
J	換気金物	横用
K	給排気口	SUS製 指定色横付塗装
L	土間	ボーチ:内部:玄島石張 犬走り:RC 刷毛引上
M	基礎	RC打放



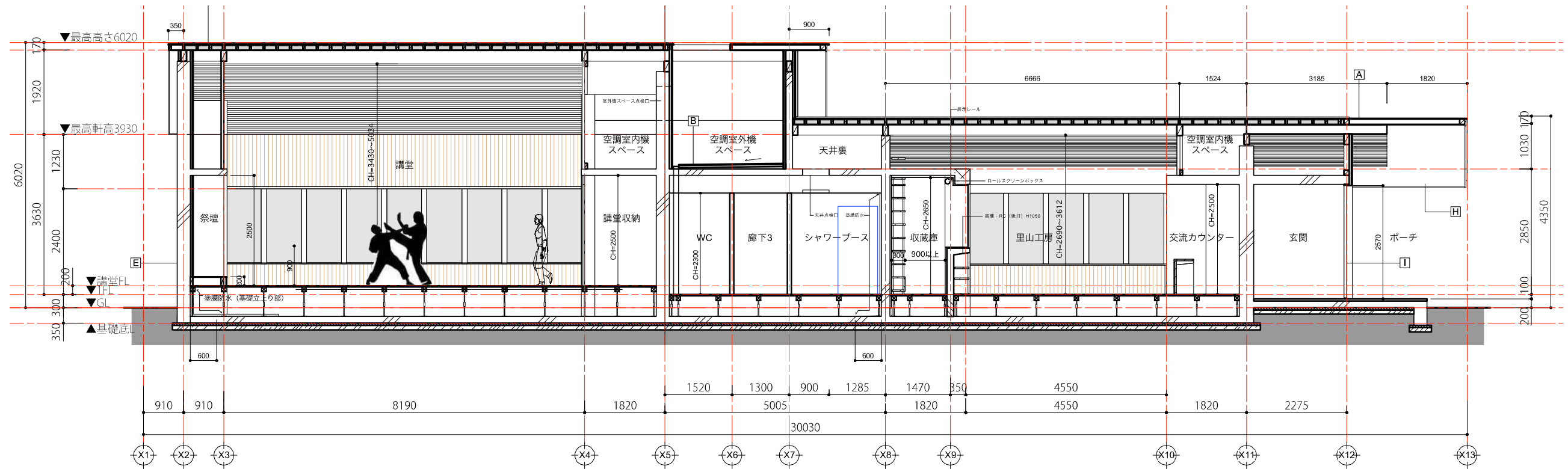
仕上等凡例		
A	屋根:1	カラーガルバリウム鋼板平葺-発砲ポリエチレンフォームt4-アスファルトルーフィング-硬質木毛セメント板-木下地
B	屋根:2	押さえコンクリートt50-100-断熱材t60-アスファルトシート-防水-RCスラブ
C	外壁:1	杉板t15-通気層-透湿防水シート-断熱材t50-RC
D	外壁:2	杉板t15-通気層-透湿防水シート-断熱材t50-木軸組(断熱材充填t50)
E	外壁:3	RC打放 撥水剤塗布
F	軒裏:1	杉板t10-木下地
G	軒裏:2	クイ酸カルシウム板t10-木下地
H	軒裏:3	高圧木毛セメント板t15-木下地
I	開口部	木製サッシ、アルミ製サッシ、ガラスFIX窓、木製ドア 他(ともにガラスはFL+A+Low-e)
J	換気金物	横用
K	給排気口	SUS製 指定色横付塗装
L	土間	ポーチ:内部:玄島石張 犬走り:RC 刷毛引仕上げ
M	基礎	RC打放



里山工房断面図



講堂断面図



長手断面図

# 梅岩の里生誕地整備 基本計画

令和2年6月24日

○基本計画の文中、「寄贈」を「寄託等」に訂正します。

○基本計画（抜粋）

## 2. 施設計画について

### 2) 予定施設の概要

想定する諸室機能

- ・収蔵庫：寄贈される書籍類を主体とし、一部掛軸もある。

（市民力推進課にて調査継続中、全貌が把握できた時点で再整理を行う。）

移設 開道舎：棚長さにして18.4m分（実測済）

寄贈 京都明倫舎：棚長さにして54m分（受領目録から推測、1冊の厚みを4cmと仮定）

大阪明誠舎：棚長さにして18m分（受領目録から推測、1冊の厚みを4cmと仮定）

現記念館：今後調査予定

予備（将来的な収蔵）：棚長さにして11.6m分

計 棚長さ 95m程度は必要

収蔵庫環境他保管に関しては亀岡市文化資料館の学芸員等と協議し整理する予定。

- ・展示：収蔵品の一部をガラスケース内に展示する。一部の資料は気軽に来館者が手に取れる様にする。
- ・講堂：墓前祭のほか、空手や剣道等の武道や芸道を行うことができる精神性の高い場。梅岩先生を顕彰し法要を行う対象（仏壇など、今後検討）を正面に配置する。
- ・講堂の収納：空手用マット、スタック椅子、折り畳み会議テーブル、演台、座布団、折り畳みローテーブル、食器その他等の、活動に必要な備品
- ・里山工房：地域交流活動の場、周辺の豊かな自然と連携した活動ができる場として整備。
- ・キッチン：里山工房と連携して、交流や活動の活性化を促す設備として活用。
- ・トイレ等：男女別および多目的トイレを設置するほか、シャワーブースの設置を検討する。
- ・事務局：建物運営事務のためのスペースを入館料設定の有無、また販売活動の有無とあわせて検討する。
- ・その他：施設維持管理のための収納や設備、また必要備品の計画検討を行う。



## 梅岩の里生誕地整備 基本計画

## 1. 建設計画について

## 1) 建設計画地

- 1.地名地番 : 亀岡市東別院町東掛六田 15番、17番、18番、24番  
亀岡市東別院町東掛大谷 1番
- 2.敷地面積 : 登記面積 計2,579㎡
- 3.道路 : 府道407号線 東掛小林線
- 4.地域地区 : 都市計画区域外
- 5.都市整備 : 給水:なし、排水:なし、電気:近隣電柱より引込(調査中)、ガス:なし
- 6.用途地域 : 指定なし

## 2) 建設計画地内にある既存施設の取り扱い

- 1.既存記念館: 解体撤去とする。解体処分費は本事業費内に含む。
- 2.既存記念館内部に保管の品: 一部保管が必要な品を適切な場所に移動・保管したのち、記念館とともに撤去処分とする。
- 3.石碑や案内板: 敷地内の適切な場所に移設
- 4.梅岩公園内の石や池など: 敷地内の適切な場所に移設、極力積極的に活用する。
- 5.アプローチ 現況のまま使用。ただし記念館へのアプローチは公園と一体的に整備する。
- 6.駐車場 現況のまま使用。

## 2. 施設計画について

## 1) 建設概要

記念館の建設、梅岩公園の整備、その他付帯設備を建設する。

プロポーザル案の考え方をベースに、2)以降の項目を満たすように施設計画・外構計画を行う。

## 2) 予定施設の概要

- 1 記念館
 

延床面積	: 300㎡程度
階数	: 平屋建
施設用途	: 集会場
主体構造	: 鉄筋コンクリート造一部木造
耐震安全性	: 構造体 III類、非構造部材 B類、建築設備 乙類
想定利用人数	: 墓前祭 50名程度
	: 武道 空手等10-15名 (将来的に梅岩の里の中で簡易的な宿泊もできるとよい)
	: 生涯学習 今後検討する。

想定する諸室機能

  - ・収蔵庫 : 寄贈される書籍類を主体とし、一部掛軸もある。  
(市民力推進課にて調査継続中、全貌が把握できた時点で再整理を行う。)
  - 移設 開道舎: 棚長さにして18.4m分 (実測済)
  - 寄贈 京都明倫舎: 棚長さにして54m分 (受領目録から推測、1冊の厚みを4cmと仮定)
  - 大阪明誠舎: 棚長さにして18m分 (受領目録から推測、1冊の厚みを4cmと仮定)
  - 現記念館: 今後調査予定
  - 予備 (将来的な収蔵): 棚長さにして11.6m分
  - 計 棚長さ 95m程度は必要

収蔵庫環境他保管に関しては亀岡市文化資料館の学芸員等と協議し整理する予定。

  - ・展示室 : 収蔵品の一部をガラスケース内に展示する。一部の資料は気軽に来館者が手に取れる様にする。
  - ・講堂 : 墓前祭のほか、空手や剣道等の武道や芸道を行うことができる精神性の高い場。  
梅岩先生を顕彰し法要を行う対象 (仏壇など、今後検討) を正面に配置する。
  - ・講堂の収納 : 空手用マット、スタック椅子、折り畳み会議テーブル、演台、座布団、折り畳みローテーブル、食器その他等の、活動に必要な備品
  - ・里山工房 : 地域交流活動の場、周辺の豊かな自然と連携した活動ができる場として整備。
  - ・キッチン : 里山工房と連携して、交流や活動の活性化を促す設備として活用。
  - ・トイレ等 : 男女別および多目的トイレを設置するほか、シャワーブースの設置を検討する。
  - ・事務局 : 建物運営事務のためのスペースを入館料設定の有無、また販売活動の有無とあわせて検討する。
  - ・その他 : 施設維持管理のための収納や設備、また必要備品の計画検討を行う。
- 2 梅岩公園
 

現在に伝わる里山の風景の骨格を生かす整備とする。

  - ・生家と一体的に屋敷と感じられるよう、記念館側も石垣を計画する。
  - ・花・葉・果実で季節が感じられる作庭
  - ・土砂災害に配慮しつつ公園として感じられる整備計画。

- ・擁壁（石積みの意匠を踏襲）

3 駐車場 現況のまま利用。サインを計画する。

4 その他施設・設備等

- ・さく井工事：本館単独での採取とし敷地造成後採掘を行う。基本設計期間内に試験ボーリングを行うものとする。
- ・浄化槽設備工事：本体工事に含むものとする。
- ・受電設備工事：本体工事に含むものとする。
- ・ガス設備付帯の有無は基本設計内で検討する。

3) 施設運用について

市の指定管理者を配置し、運用する。利用料は有料とするが、入館料については今後の検討課題とする。

4) 整備事業における配慮事項

- 1 生家が石田二郎様の生活の場であることに十分な配慮をすること（計画、施工時ともに）
- 2 梅岩先生が幼少の頃にご覧になった風景の骨格を残すこと。
- 3 京都府福祉のまちづくり条例における特定まちづくり施設に該当する可能性が高い（京都府と協議）
- 4 強雨時の敷地南側からの雨水が支障なく排水できる外構計画とすること
- 5 周辺環境の特徴を活かし、ライフサイクルコストと環境負荷低減に配慮した計画とする。

5) その他

基本設計時に下記の調査を行うこととする。

- ・敷地内井戸の試掘による採水量と水質の確認
- ・地盤調査（原位置試験、ボーリング調査1箇所およびスウェーデン式サウンディング試験5箇所）
- ・敷地図の作成および敷地測量

3.付帯業務について

1) 修繕計画

建築および外構まわりの修繕計画を実施設計完了後に立案する。

以上